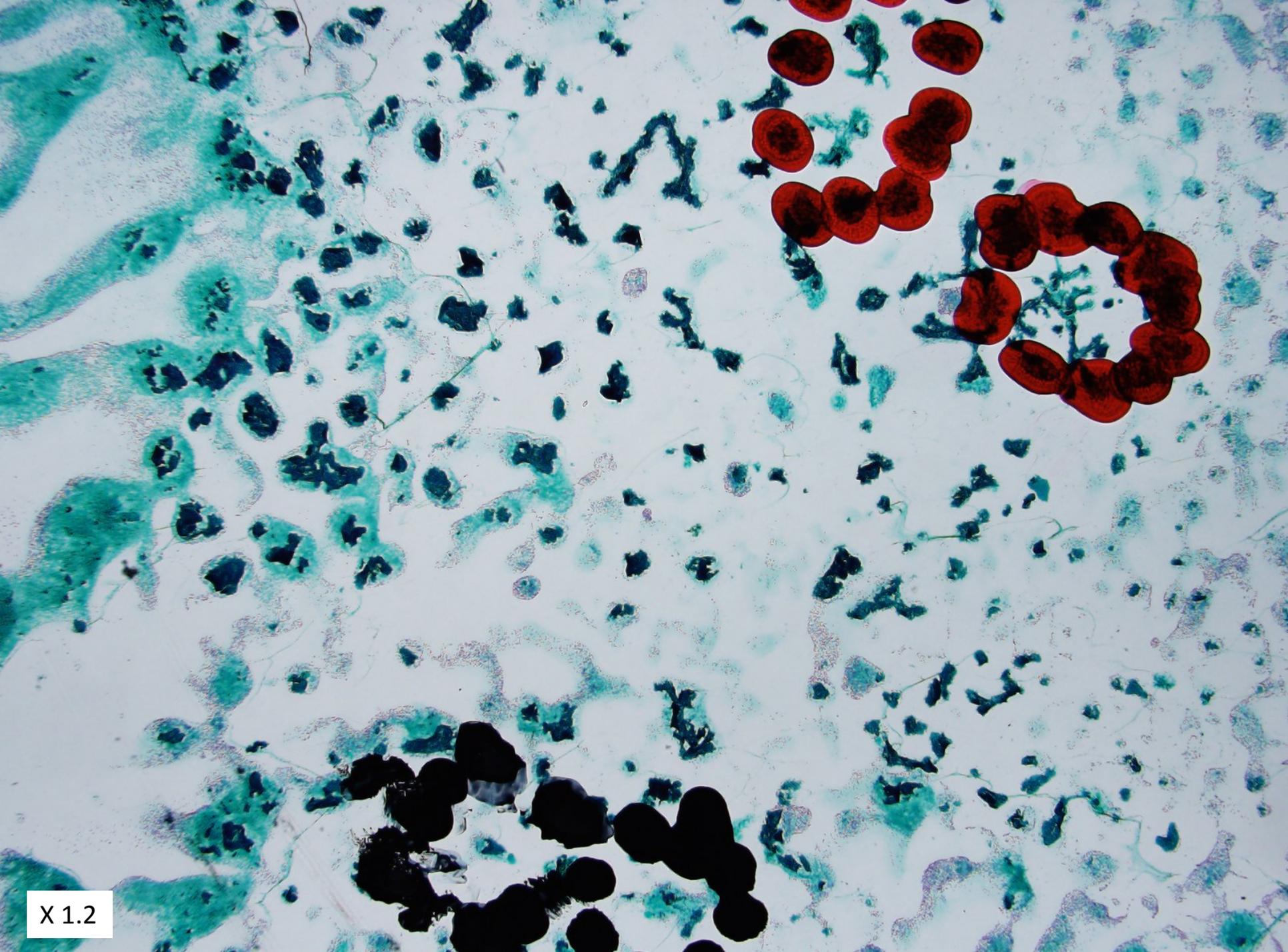


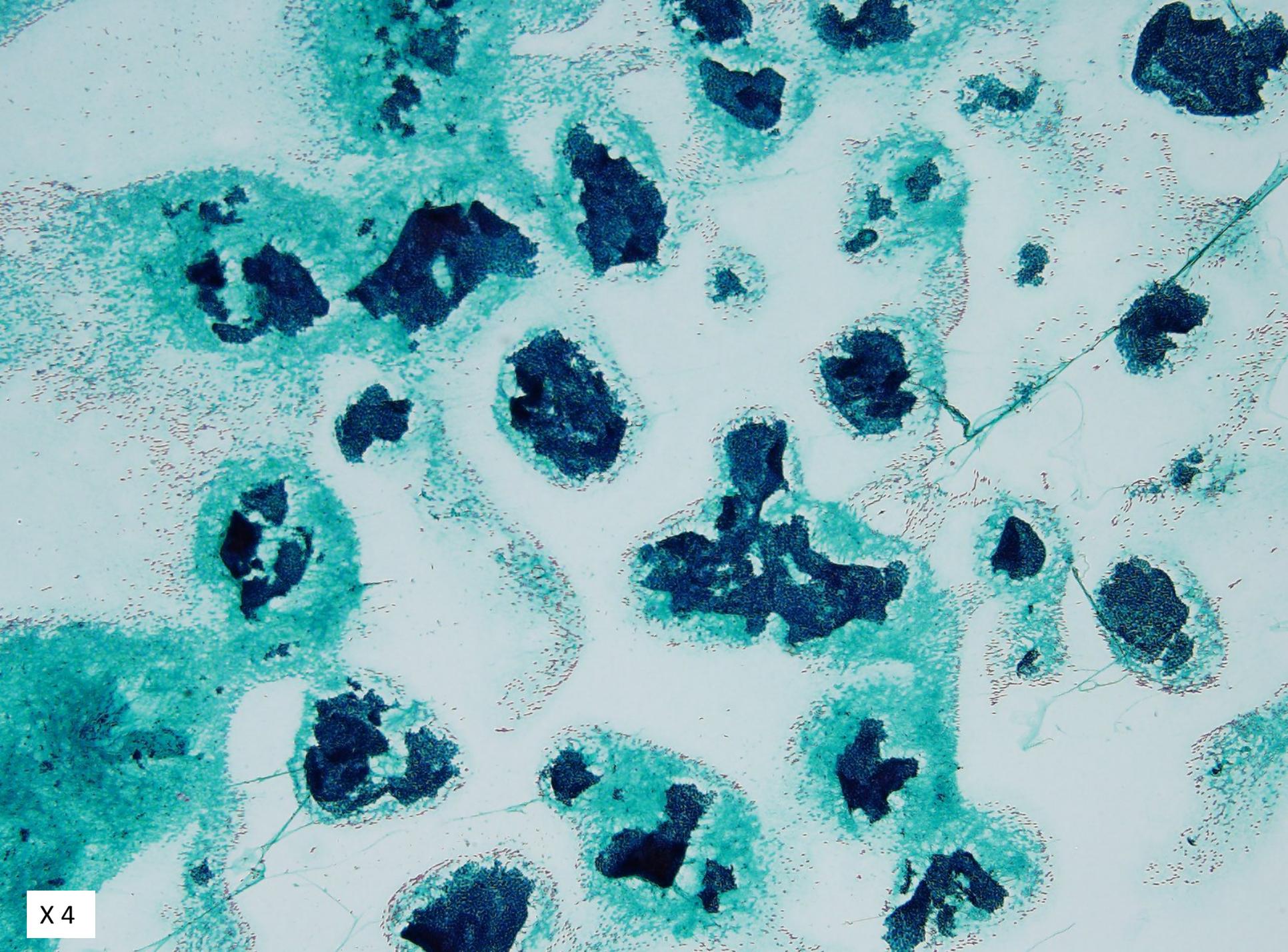
症例 3

病歴(耳下腺FNA)

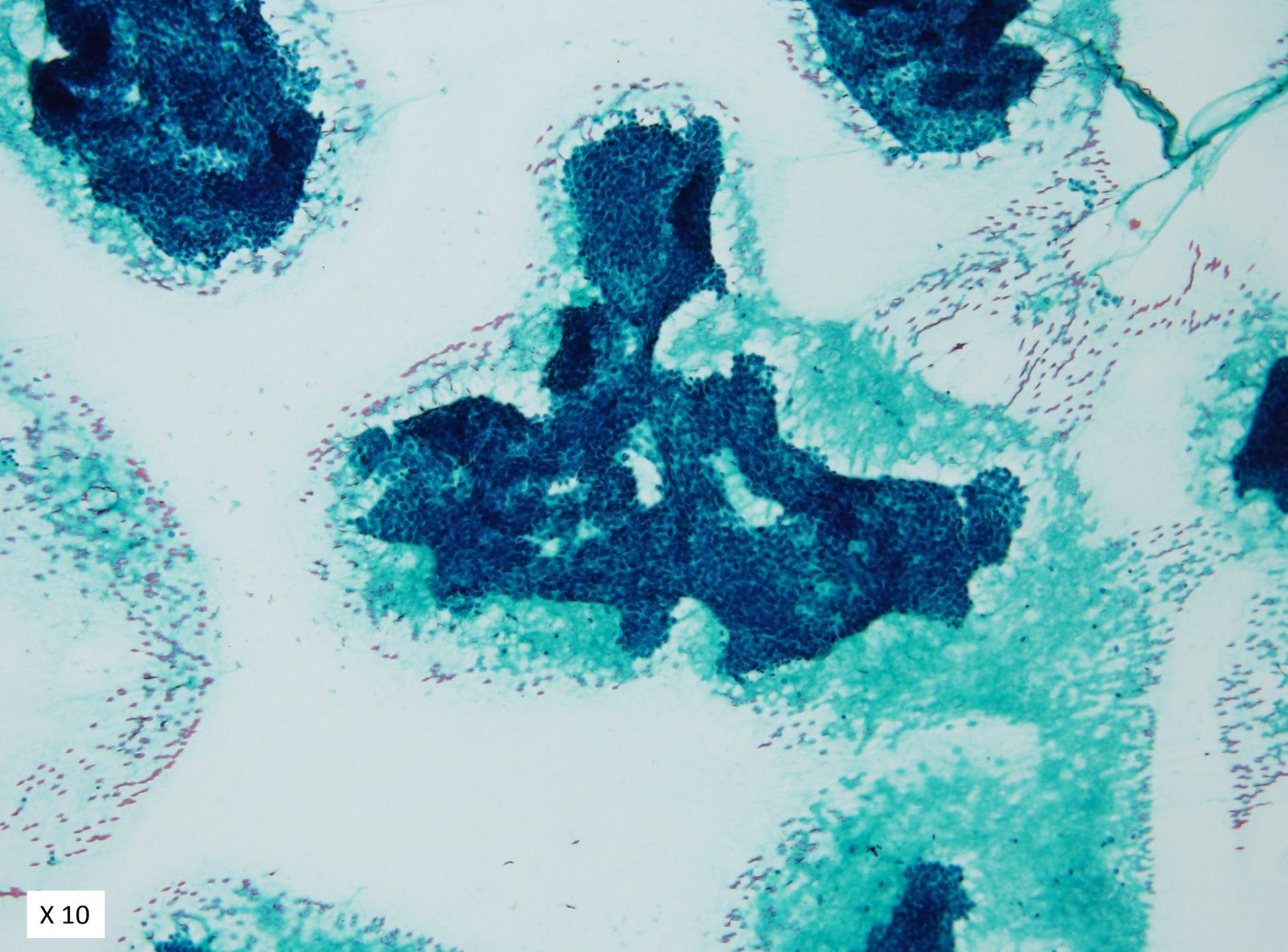
- 60代, 女
- 約10年前から右耳下腺に腫瘤を認め, 徐々に増大し, 最近痛みが出てきた。理学所見は, 直径26 mmの比較的境界明瞭な腫瘤で, 顔面神経麻痺はなかった。造影MR所見からワルチン腫瘍が疑われ, 穿刺吸引細胞診が行われた。15年前に乳癌(浸潤性乳管癌)のため温存手術を受け, 再発兆候はない。



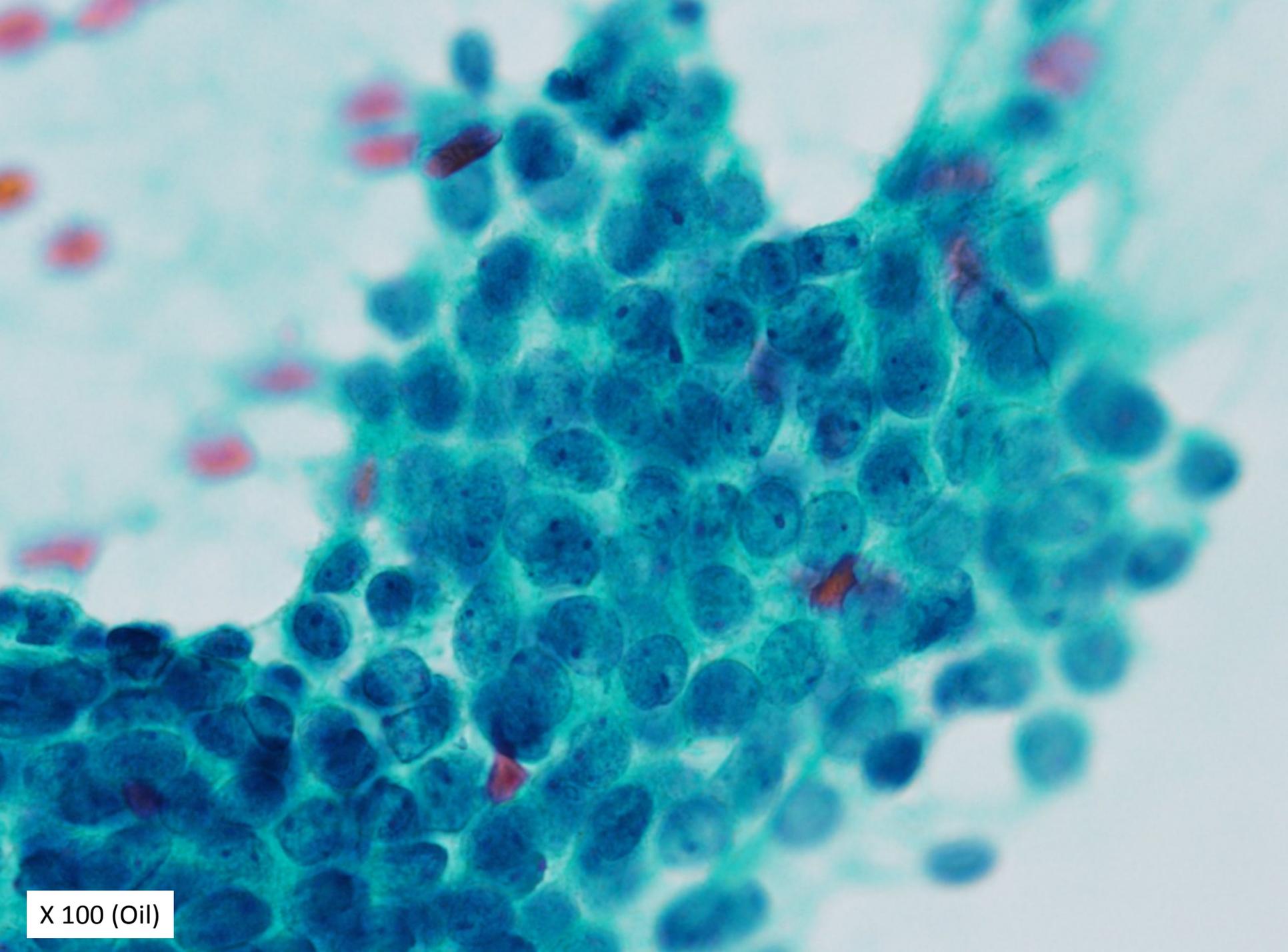
X 1.2



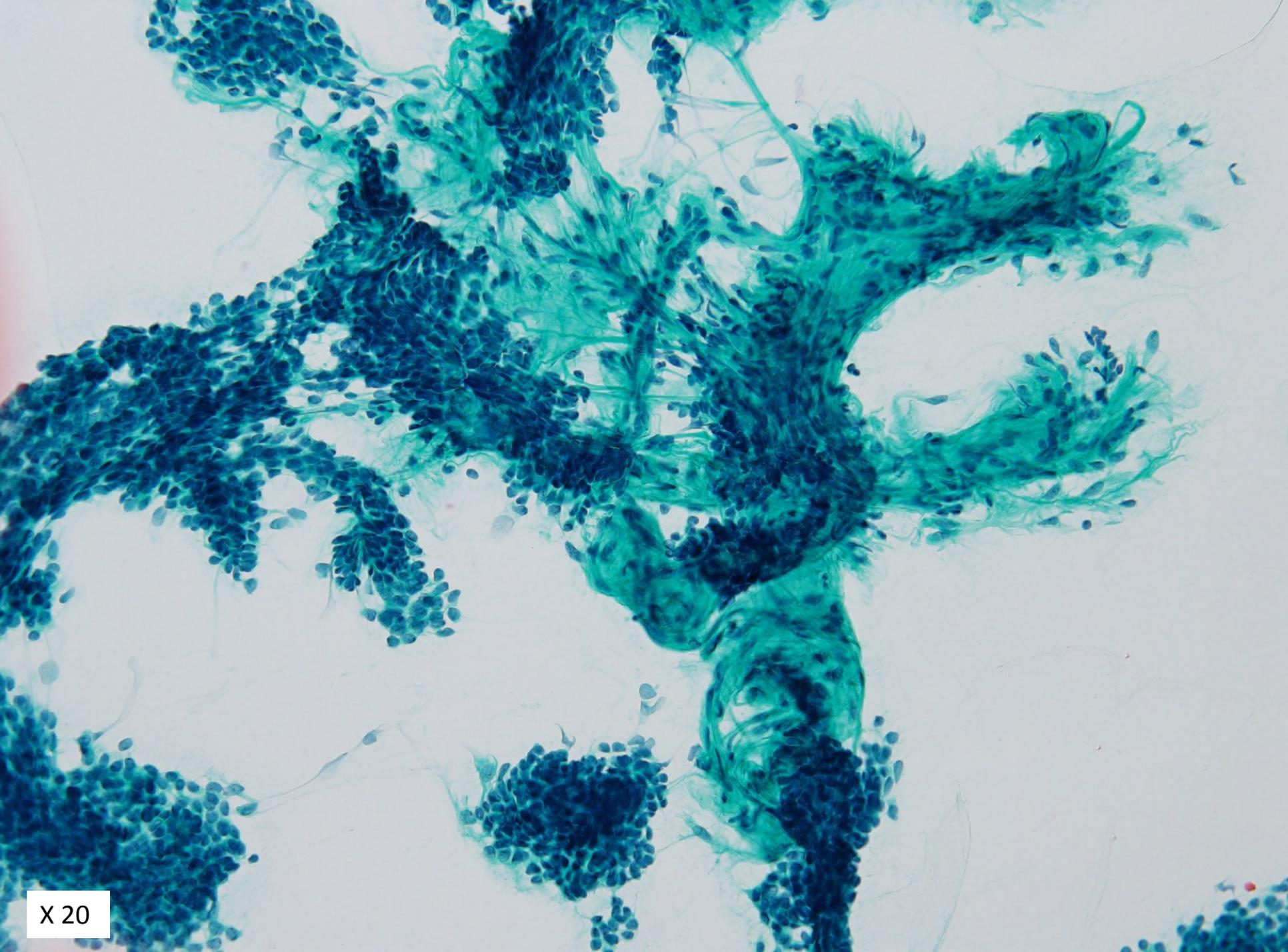
X 4



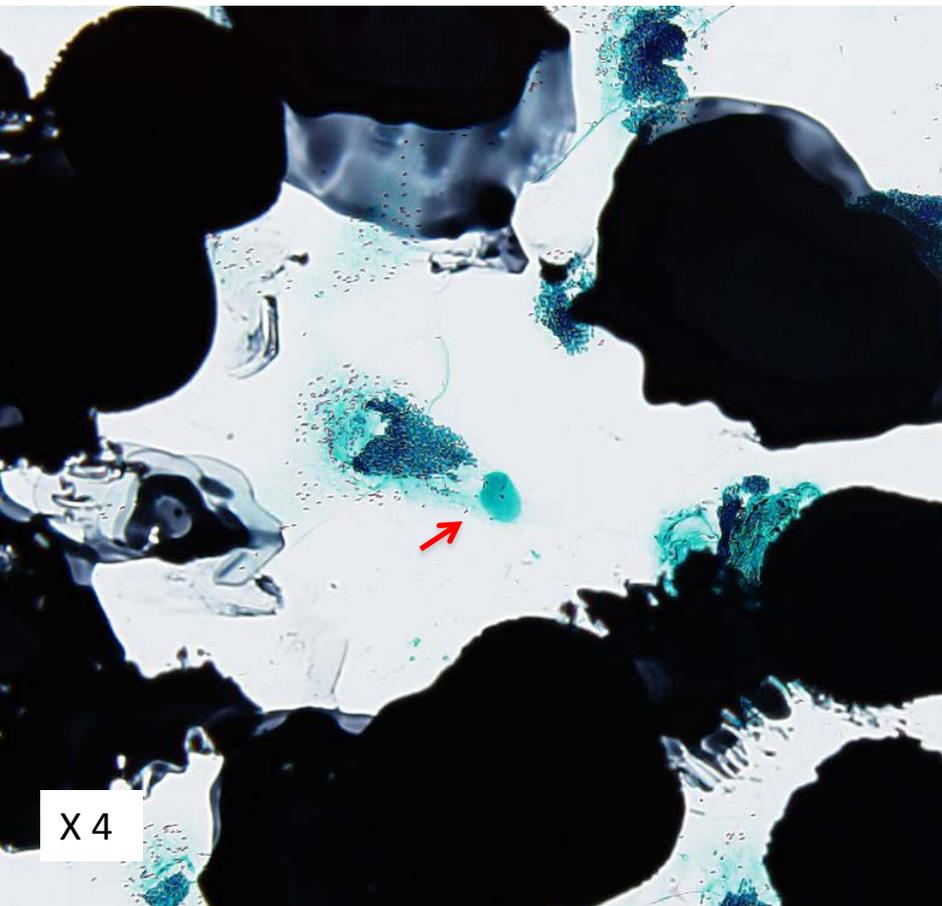
X 10



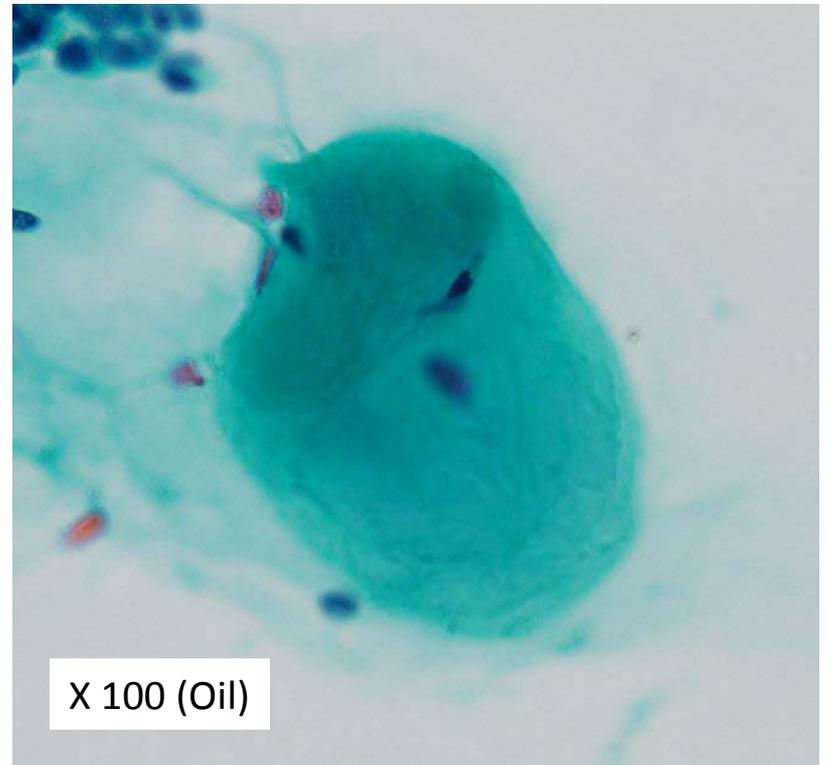
X 100 (Oil)



X 20

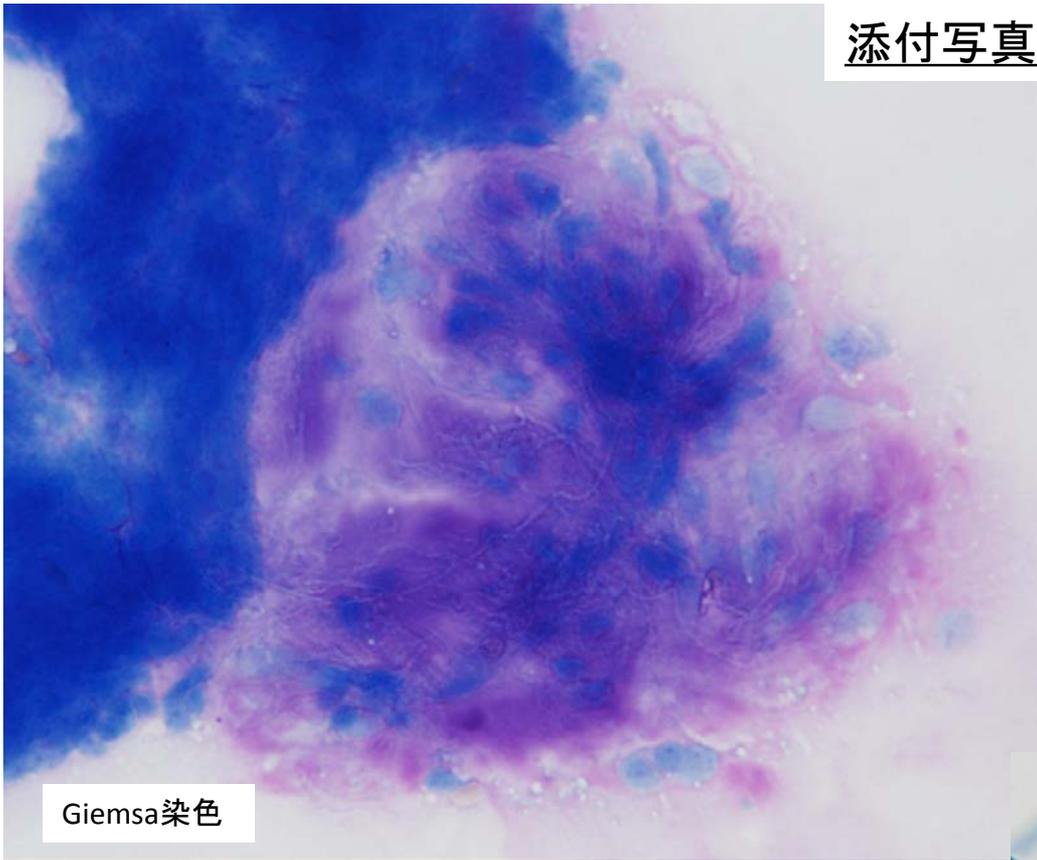


X 4

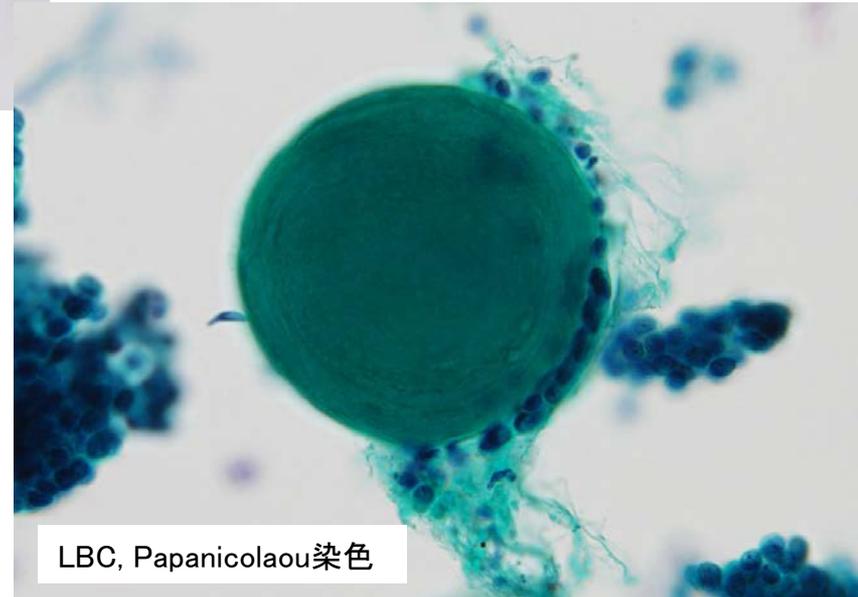


X 100 (Oil)

添付写真



Giemsa染色



LBC, Papanicolaou染色

選 択 肢《複数回答可》

- (1) ワルチン腫瘍
- (2) 転移性乳癌
- (3) 多形腺腫
- (4) 基底細胞腺腫
- (5) 腺様嚢胞癌